

ベトナムの政治体制と5月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024年5月

I. はじめに

ベトナム・ハノイ市に開設された、とちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）より、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。今回は、ベトナムの政治体制に加え、今月（5月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. ベトナムの政治体制

ベトナムの政治体制は日本とは大きく異なります。近年、ベトナムでは反汚職運動が行われており、ベトナム共産党幹部の失職等のニュースを目にした方も多いと思います。今回は、ベトナムの政治体制をご紹介します。

➤ ベトナム共産党による集団指導体制

現在、ベトナム共産党の党員数は約510万人とされています。ベトナムの人口が約9,700万人であることから、国民の5%弱が党員ということになります。ベトナム共産党は、一党独裁の下、国の政策・政治決定を行ってきました。一党独裁のため、国として重点的に推進すると決めた政策については、意思決定が早いことも、ベトナムの大きな特徴のひとつです。

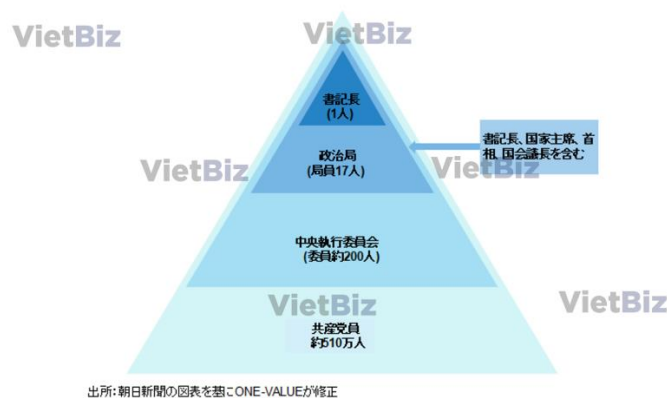
他の社会主義国と同様に、政治的には党が国家に対して優位に立ち、党の役職が国家の役職よりも意味を持っています。5年に1度、全国の党員の代表者1,200人が招集され開かれるベトナム共産党全国代表者会議がベトナムで最も重要な政治行事であり、そこで選出される約200人からなる中央執行委員会(以下、中央委員会)が、実質的なベトナム政治の最高指導機関となります。さらに、中央委員会の上位機関である「政治局」のメンバー17人は、中央委員会約200人の中から選出され、党大会や中央委員会の決定を基に、党の政策や方針を明確・具体化し、その実施状況をチェックしています。ベトナムの国家方針と施策は、実質的に政治局で決定されており、国家運営を司っています。

➤ 共産党の政治「4役」

ベトナム共産党の政治的特徴として、上記の通り、集団指導体制が敷かれていることがあります。そのため、他の社会主義国（中国、北朝鮮など）ほどは、個人に権力が集中していません。その象徴と言えるのが、政治4役(党書記長、国家主席、首相、国会議長)による権限の分散と均衡です。これら政治4役は、保守派と改革派のバランス、地域間のバランス(北部、中部、南

部、どこ出身か)、権力のバランス(共産党、軍部、政府)を考慮して選出されることが慣例となっています。

- 党内序列第 1 位 共産党書記長(共産党のトップ、国の最高指導者)
グエン フー チョン氏
- 党内序列第 2 位 国家主席(国家元首。儀礼的な役職)
トー・ラム氏
- 党内序列第 3 位 首相(政府代表。内閣・行政の運営)
ファム ミン チン氏
- 党内序列第 4 位 国会議長(国会の運営・司法・立法)
チャン・タイン・マン氏



ベトナム共産党の体制図

III. 【5月注目ニュース】ベトナム国家主席にトー・ラム公安相が就任

5月18日、ベトナム共産党中央委員会は、3月に辞任したポー・バン・トゥオン国家主席の後任として、トー・ラム公安相を次期国家主席に指名することに同意しました。1957年に北部フイエン省で生まれたトー・ラム氏は、2010年8月に公安副大臣に任命され、2016年4月には同省のトップに就任した。2021年には政治局に再選し、反腐敗中央運営委員会、中央内政保護委員会、国防安全評議会、司法改革中央運営委員会で重要な役割を担ってきました。また、「違反と欠点」を理由に先月辞任したブオン・ディン・フエ氏の後任として、チャン・タイン・マン副議長を、新たな国会議長として指名しました。61歳のマン氏は、2021年から国会副議長を務めています。また、5月16日には、政治局員兼書記局常務であったチュオン・ティ・マイ氏の辞任も発表されています。この1年半の間に、2人の国家主席、国会議長、副首相、党経済委員会の責任者が辞任することとなりました。

とちぎベトナムサポートハブ

<所在地> 14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

HP: <https://onevalue.jp/>